

第3回奈良市バリアフリー基本構想推進協議会 議事録

日時：平成28年8月29日（月）

14時00分～16時00分

場所：奈良市役所北棟6階第22会議室

1. 開会挨拶

2. 奈良市バリアフリー基本構想及び奈良市バリアフリー特定事業計画について

3. 奈良市バリアフリー特定事業計画の進捗状況について

【資料の表現について】

- ・実施状況の欄について、「一」の入っているものと、ブランクになっているものの違いがわかりにくい。

【近鉄奈良駅のバリアフリーについて】

- ・エレベーターとトイレの間の店舗が広がったため、店舗の中を通り抜けるような形になっておりわかりにくい。
- ・外国人の利用も増えているため、エレベーターはもう一基あったほうがよいのではないか。
- ・改札内のトイレの場所がわかりにくい。
- ・エレベーターの設置について、現状をどのように変化させて、新しいものを生み出すかということをご検討いただきたい。

【鉄道駅全般について】

- ・性的マイノリティのためのトイレをつくっていただきたい。

【バスについて】

- ・ワンステップバス、ノンステップバスが整備されても、本市は歩道が狭すぎて引き出せず車いすの方が利用できない。
- ・ノンステップバスがどの時間に来るのかわかるような工夫がほしい。

【タクシーについて】

- ・現在、ユニバーサル仕様のタクシーはなく、一般の車体を改良する形で利用している。今後、トヨタや日産からユニバーサルタクシーが発表される予定であるが、コストが

非常に高い。そのため、補助をしっかり出さないと、導入は厳しい。

【道路について】

- 国道、県道について、歩道のバリアフリー上の課題は多岐にわたっており若干事業期間が伸びている。また、様々な関係機関との調整に時間がかかっている。今後、順次進めていきたい。
- 奈良市道については、新奈良病院関連の道路や交差点整備を優先的に行っている結果、平成 27 年度実施予定であった事業が平成 28 年度に延期となった。

【交通安全施設について】

- 基本構想に位置づけられた部分は出来るだけ前倒しで進めているが、景観上の問題等もあり事業を進めることが難しい箇所もある。
- 聴覚障がい者にも信号の待ち時間がわかるよう、残り時間を表示するような設備があればよい。
- 青色延長ボタンが設置されていても、利用している方が少ない。周知を進める必要がある。
- 事業の中に横断歩道が消えかけていて見えにくいという課題が記載されているが、本来維持管理は進めていくのが当然のことであるので、事業として挙げるのは適切ではないのではないか。

【建築物について】

- 市の建築物については、多機能トイレの整備を進めているが、オストメイト対応は難しい部分がある。
- 寺院、神社は、外国人観光客への対応に力を入れており、トイレの使い方の掲示、和式トイレの洋式化など順次整備を進めており、ほとんど実施も終わっている。
- 銀行はハード対応が難しい面があり、ソフト対応に力を入れている。
- 銀行について、聴覚障がい者が困ったときに問い合わせをしようとしても電話は使えないので、画面上で問い合わせできるようにしてほしい。
- 新しいホテルを建てるのであれば、聴覚障がい者対応の設備も整備してほしい。